

紙芝居《第5作》「としまくの電車」

《語り部部会》 会長 斎藤康芳

- ◆ 第1作(平成22年度)「はたけものがたり」
- ◆ 第2作(平成23年度)「民話『小さい桶』」
- ◆ 第3作(平成24年度)「千川上水ものがたり」
- ◆ 第4作(平成25年度)「今を生きる」

★ 第5作
(平成27年度)



—<プロローグ>—

❖ 「語り部部会」のメンバー

<12名>は それぞれの得意分野と人生経験を基に 手作りした紙芝居をルーツとして 小中学生 お年寄りと交流し 対話を通じて 子供達の好奇心をかきたて 情操教育の一助ともなればと願い また お年寄りとの交流で活性化を図るなど 「次世代につなごう豊島の今昔」という 語り部部会のキャッチフレーズに 向かって活動 しています。

❖ 「区民ひろば千早」《語り部部会》の“第5作目”の紙芝居は『としまくの電車』です。タイトルは 少しかたい感じですが おじいちゃんと孫娘「サクラ」との やりとりの中で西武池袋線をはじめ 池袋を中心に発着する JR・東京メトロなど また現在都内で唯一運行されている路面電車 “都電荒川線”の 昔なつかしい風情とか 区内の昭和鉄道高等学校の 校風などに触れながら 豊島区の電車をひもとく紙芝居です。

平成22年度から活動を始め 今回 第5作目を作成しました。 テーマの選択 シナリオ 絵 ナレーター 紙芝居の枠など 全て 語り部部会の メンバーの 手作りですが また多くの方々の 知見も戴いて おります。

